

# 函館JC

[北海道]

## 現役とは違った視点で 独自の勉強会などを開催

函館市は、北海道の南端部に位置し、三方を太平洋・津軽海峡に囲まれ、海洋天然資源の豊富な大変住み心地の良いところです。横浜、長崎とともに国際貿易港として開港以来、いち早く外国文化に触れており、異国情緒あふれる街並みが今も残っています。

両側を漆黒の海に囲まれた、たぐいまれな地形が作り出す夜景は、ひかりの街・函館のシンボルとなっています。

大正時代、函館は北太平洋におけるサケ・マス、北洋漁業を中心とした水産業の発展は、必然的に商業の発展も促して、函館の商業圏は全国に広がり、貿易は中国をはじめ、東南アジア、欧州各国まで伸びていきました。このころ市の人口は約15万人を数え、昭和10年ごろまでは札幌、仙台をしのぐ東京以北最大の都市でした。

現在では、約30万人の人口であり、北海道の行政、経済、文化の中核都市として成長を続けています。

### 函館

JCは、1950年に日本JC設立

した。翌1951年に日本JC設立の際、チャーターLOMとして参加しその創始の精神は創立56年目の今も代々受け継がれています。1954年の第3回全国会員大会を皮切りに、全国会員大会を2回、地区会員大会を3回主管、3LOMのスポンサーJ



はこだてクリスマスファンタジー

Cとなるなど、常に積極的に青年会議所運動を展開してきました。そして、1998年「はこだてクリスマスファンタジー」という異国情緒あふれる函館の特色を生かした「まちづくり事業」を企画し、同友会はもとより、地域の諸団体、行政、市民、学生などと一つになってひかりの街・函館の冬の期間の観光発展にも尽力しています。

さて、函館JC同友会は、243名のメンバーを有しており、西村憲人会長を中心に63名の役員構成にて現役の後援活動と会員の交流を目的に運動しており、設立41年を迎えます。

主な活動状況は、新年総会・懇親会や現役との合同例会などの交流事業、市長をお招きしての市長例会など、



北 北海道地区大会「鍵  
の伝達式」を行う  
歴代理事長



同友会と現役の  
合同例会

現役とは違った視点での独自の勉強会なども開催しています。

また、「じゃがいもクラブ」は、会員71名(現役を含む)で、年4回のゴルフコンペを開催し、現役との交流を活発にしています。

本年は第55回北海道地区大会を27年ぶりに主管すること、全道はもとより、全国のシニアクラブの皆様とお会いする機会を今から楽しみにしています。

今後とも「明るい豊かな社会」実現のため、現役メンバーと一緒に、地域発展に向けて歩んでいきます。

日本JCシニアクラブ

道南ブロック担当幹事 久保俊幸